

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。  
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の  
各種手続のお取り扱いを行っております。



ハートフォード生命保険株式会社の  
目標設定機能付  
年金原資保証型変額個人年金保険

## 特別勘定の月次運用レポート 2012年4月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

### 変額個人年金保険のリスクと手数料について

- 変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高・解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生ずるおそれがあります。
  - 本保険商品はハートフォード生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金等とは異なり、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
  - 解約・一部解約をした場合や年金受取開始日以降に年金の一括受取をした場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること(元本割れリスク)があります。
  - 契約時費用:一時払保険料の5%  
この保険契約の締結などに必要な費用です。一時払保険料の5%相当額が保険料のファンドへの繰入の際に保険料から控除されます。
  - 保険関係費用:資産残高に対して年率2.65%  
新規契約の成立や維持等に必要な費用ならびに死亡保険金を支払うために必要な費用です。ファンドの資産残高に対する割合(率)で決められており、資産残高にこの割合(率)を乗じた金額の1/365が資産残高から毎日控除されます。
  - 運用関係費用:投資信託の信託財産に対して年率0.3200%程度(税抜年率0.3117%程度)  
ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対し所定の率を乗じた金額が毎日控除されます。外国投資信託証券を投資対象とする「ファンド・オブ・ファンズ」であるため、ファンド・オブ・ファンズ自身の信託報酬に加え、主要投資対象である外国投資信託証券の信託報酬も考慮した場合の費用です。信託報酬は、投資対象である投資信託にかかる信託報酬年率0.1733%程度(税抜年率0.1650%)と、その投資対象である各外国投資信託証券にかかる信託報酬年率0.14667%との合計年率0.3200%程度(税抜年率0.3117%程度)となります。信託報酬のほか、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用はファンドがその保有資産から負担しており、公表されるユニットプライスはこれらの費用を控除した後のものです。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。
  - 年金管理費:年金額の1%  
年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
  - 解約控除:かかりません。
- ※ この商品にかかる費用の合計額は、「ご契約時の費用(「契約時費用」)」、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用」)受取期間中の費用(「年金管理費」)」の合計額となります。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

#### [募集代理店]

株式会社横浜銀行  
〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1

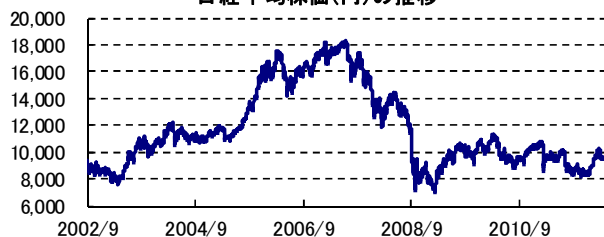
#### [引受保険会社]

ハートフォード生命保険株式会社  
〒105-0022  
東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング15階  
TEL:03-6219-3784  
<http://www.hartfordlife.co.jp>

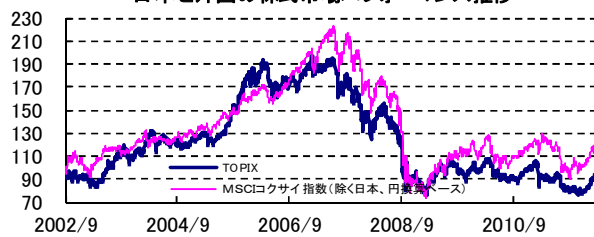
# 市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.58%	8.16%	5.92%	▲ 3.34%	7.85%
	TOPIX(東証株価指数)	▲ 5.86%	6.49%	5.26%	▲ 5.59%	▲ 4.00%
日本債券	NOMURA-BPI	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	▲ 1.80%	11.29%	8.23%	▲ 6.98%	24.00%
外国債券	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	▲ 1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	▲ 2.68%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	▲ 1.22%	6.30%	4.42%	▲ 1.08%	▲ 16.97%

日経平均株価(円)の推移

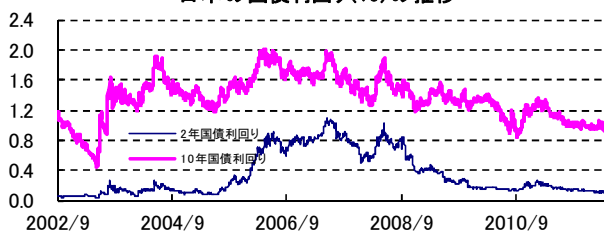


日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

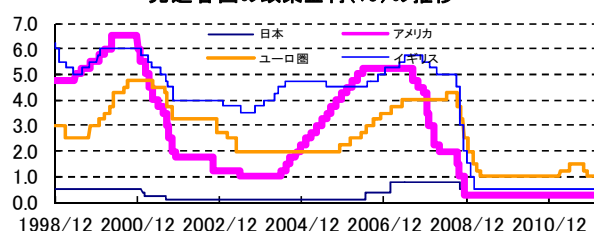


\* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

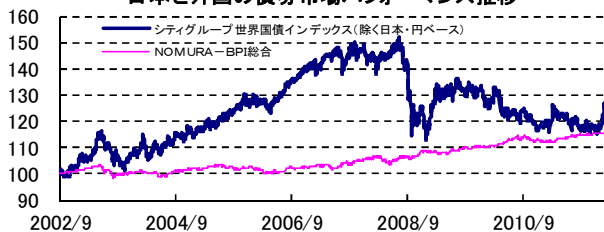
日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移

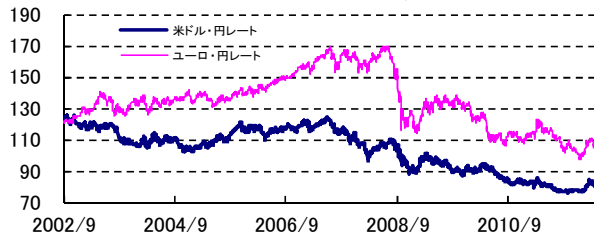


日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



\* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村証券株式会社によって計算、公表されている、野村証券株式会社の知的財産です。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。シティグループ世界国債インデックスとは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券指数で、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し、指数化したものです。

## 【日本株式市場】

4月の日経平均株価は、日本経済の先行きへの楽観的な見方が後退したことなどから、前半は大きく下落しました。その後も欧州債務問題への不安が広がったことによる投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落基調が続き、前月末より563円安の9,520円で取引を終了しました。

## 【日本債券市場】

新発10年国債利回りは、序盤こそ上昇する局面も見られましたが、依然として欧州債務問題への不安が拭えていないことや市場が日銀による更なる金融緩和を期待していたことなどから、低下基調が続き、前月末比低下の0.8%台後半で月末をむかえました。

## 【外国株式市場】

NYダウは、雇用統計の結果などを受け軟調に推移しましたが、好調な企業業績に支えられ月末にかけて持ち直す動きがあり、前月末とほぼ同じ13,213ドルで取引を終了しました。独株式市場は、スペインを含む欧州各国の債務問題の再燃があり、前月末を下回り取引を終了しました。

## 【外国債券市場】

米10年国債利回りは、欧州債務問題だけではなく世界景気にも先行き不透明感が高まったことで月を通じて低下基調が続き、前月末を下回り月末をむかえました。独10年国債利回りは、欧州内での資金逃避先として選好される動きが強まり、前月末を下回り月末をむかえました。

## 【外国為替市場】

米ドルは、米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退したことなどから、円高基調が続き、前月末比円高の1ドル=81円台前半で月末をむかえました。ユーロは、欧州債務問題への不安感などから売られる動きが続き、前月末比円高の1ユーロ=107円台前半で月末をむかえました。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。  
 ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。  
 ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

## 特別勘定と主な投資対象の投資信託

### 特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)**		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
世界アセットH9 SS (0902)	●	●	●	●	ステート・ストリート・ ワールドバランスVA 0902 *	ステート・ストリート・グローバル・ アドバイザーズ株式会社	98.1%	1.9%	2,906

\* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

\*\*資産配分比率は、基準日時点での申込ベースの値です。組入投資信託の運用レポートに記載された純資産総額は、基準日時点での設定ベースの値です。

### 投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
ステート・ストリート・ ワールドバランスVA 0902 *	国内外の株式及び国内外の公社債を主要投資対象とする外国投資信託証券に主として投資し、長期的に安定した資産の成長を目指します。株式を主要投資対象とする外国投資信託証券と公社債を主要投資対象とする外国投資信託証券の基本配分比率は当初40%、60%で運用開始し、一定期間経過後、各資産の時価変動等に応じて変動します。外国株式部分については、その外国投資信託証券において為替ヘッジが行われ、また外国公社債部分については、その外国投資信託証券において原則為替ヘッジが行われます。

\* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

## 特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

世界アセットH9 SS (0902)



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.70%	1.90%	1.87%	-1.77%	8.26%	11.30%

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

## 【特別勘定名】

世界アセットH9 SS (0902)

## 【特別勘定が投資する投資信託】

ステート・ストリート・ワールドバランスVA 0902<適格機関投資家限定>

## 【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## 主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

## 運用方針

国内外の株式及び国内外の公社債を主要投資対象とする外国投資信託証券に主として投資し、長期的に安定した資産の成長を目指します。株式を主要投資対象とする外国投資信託証券と公社債を主要投資対象とする外国投資信託証券の基本配分比率は当初40%、60%で運用開始し、一定期間経過後、各資産の時価変動等に応じて変動します。外国株式部分については、その外国投資信託証券において為替ヘッジが行われ、また外国公社債部分については、その外国投資信託証券において原則為替ヘッジが行われます。

作成基準日: 2012年04月27日

当ファンドはファンド・オブ・ファンズで運用を行い、実質的に国内外の株式及び公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券は、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ハートフォード・インターナショナル日本株式インデックス・ファンド\*1:「TOPIX(東証株価指数配当込み)」

ハートフォード・インターナショナル外国株式インデックス・ファンド(為替ヘッジあり) <クラス1>\*2:「MSCIロクサイ・インデックス(円ヘッジベース)」

なお、ハートフォード・インターナショナル安定型債券ファンド0902\*3につきましてはベンチマークに連動するかたちでなく、運用開始時に残存期間が10年程度の国内外の公社債等に投資し、外貨建資産については為替リスクをコントロールすることにより、円ベースで安定した収益を得られることを目標とする運用を行います。

\*1 ハートフォード・インベストメント・マネジメント・カンパニー(正式社名はHartford Investment Management Company、以下「HIMCO」といいます。)が運用するダブリン籍の円建て外国投資信託証券で、正式ファンド名称はHartford International - Japan Equity Index Fundといます。

\*2 HIMCOが運用するダブリン籍の円建て外国投資信託証券で、正式ファンド名称はHartford International - Global Equity (Ex-Japan) Index Fund <Class1>といます。なお、当外国投資信託証券における組入外貨建資産の為替変動リスクに対して、当外国投資信託証券において為替ヘッジが行われています。

\*3 HIMCOが運用するダブリン籍の円建て外国投資信託証券で、正式ファンド名称はHartford International - Stable Bond Fund 0902といます。なお、当外国投資信託証券における組入外貨建資産の為替変動リスクに対して、当外国投資信託証券において原則為替ヘッジが行われています。

## ファンドの状況

### ● 基準価額等

		前月末比
基準価額	12,039円	-61円
純資産総額	2,850百万円	-68百万円

※1) 基準価額は信託報酬控除後です。

※2) 純資産総額は百万円未満四捨五入

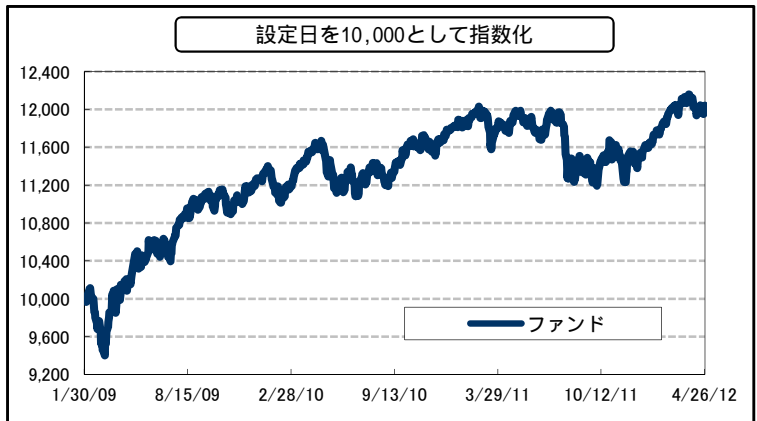
## 基準価額の騰落率と推移

	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.50%	-0.01%	2.59%	3.26%	0.87%	17.59%	20.39%

## 信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
HIMCO日本株式ファンド	11.9%	15.0%	-3.1%
HIMCO外国株式ファンド	29.2%	25.0%	4.2%
HIMCO安定型債券ファンド	58.8%	60.0%	-1.2%
コール他	0.1%	0.0%	0.1%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注) 信託財産純資産総額比



### ◇4月の市場動向◇

【国内株式】4月の国内株式市場は、南欧各国の財政再建の遅れに対する警戒感からリスク回避の動きが強まり、下落基調となりました。前月までの円高修正が一服したことも重石となりました。

【国内債券】4月の国内債券市場は、経済指標が強弱交錯する中、中国の景気減速懸念や欧州債務懸念の再燃、月末の日銀による追加金融緩和策を受けたことが日本国債の買い材料となりました。日本10年国債利回りは前月末から0.09%低下の0.90%となりました。

【外国株式】4月の海外株式市場は、下げ先行の展開となり月間では多くの市場が下落しました。その結果、米S&P500指数は5か月振り、独DAX指数は4か月振りに月間の騰落率がマイナスとなった一方、3月に下落した香港ハンセン指数は反発しました。株式市場は月の前半に欧州債務懸念の再燃や景気減速を示唆するマクロ指標などにより下落しましたが、米アップル社などが下旬に公表した好調な企業決算により下げ幅を縮小しました。

【外国債券】4月の海外債券市場は、米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録で米国景気の改善が示唆されたものの、経済指標が軟調であることに加え、欧州債務懸念が再燃したことを受けて米国債は買われる展開となりました。米国10年債利回りは前月末から0.30%低下の1.91%となりました。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

## 【特別勘定名】

世界アセットH9 SS (0902)

## 【特別勘定が投資する投資信託】

ステート・ストリート・ワールドバランスVA 0902<適格機関投資家限定>

## 【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## 主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

## 運用方針

国内外の株式及び国内外の公社債を主要投資対象とする外国投資信託証券に主として投資し、長期的に安定した資産の成長を目指します。株式を主要投資対象とする外国投資信託証券と公社債を主要投資対象とする外国投資信託証券の基本配分比率は当初40%、60%で運用開始し、一定期間経過後、各資産の時価変動等に応じて変動します。外国株式部分については、その外国投資信託証券において為替ヘッジが行われ、また外国公社債部分については、その外国投資信託証券において原則為替ヘッジが行われます。

## 主たる投資対象となる外国投資信託証券の運用状況

作成基準日: 2012年04月27日

### ●ハートフォード・インターナショナル日本株式インデックス・ファンド (運用会社:HIMCO)

#### ファンドの特色:

- ① 主として東京証券取引所に上場されている株式への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数配当込み)と同等の投資収益の実現をめざして運用を行います。
- ② 現金や定期預金などの補完的な流動資産を保有する場合があります。
- ③ ポートフォリオの効率的な運用に資するため、ならびに収益増大、リスク管理やコスト削減のため、為替先渡し取引、アセット・スワップ、トータル・リターン・スワップ、株価指数スワップや先物・オプション取引などを含むデリバティブ取引および貸し株などを活用する場合があります。

#### 【ファンドのパフォーマンス】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
当ファンド	-5.88%	7.51%	6.42%	-3.66%	1.12%	10.04%
ベンチマーク	-5.86%	7.66%	6.54%	-3.36%	1.97%	11.17%
超過収益	-0.02%	-0.14%	-0.12%	-0.30%	-0.85%	-1.13%

#### 【組入上位銘柄】

組入銘柄数 1,670銘柄

銘柄名	業種	純資産比
トヨタ自動車	輸送用機器	3.9%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.6%
本田技研工業	輸送用機器	2.2%
キヤノン	電気機器	2.1%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.7%
合計		12.5%

・当外国投資信託証券の純資産総額対比です。

### ●ハートフォード・インターナショナル外国株式インデックス・ファンド (運用会社:HIMCO)

#### ファンドの特色:

- ① 主として日本を除く世界の先進国の株式等への投資を通じて、MSCIコクサイ・インデックス(円ヘッジベース)と同等の投資収益の実現をめざして運用を行います。
- ② 現金や定期預金などの補完的な流動資産を保有する場合があります。
- ③ 外貨建資産の為替変動リスクに対しては為替ヘッジ(円ヘッジ)を行います。
- ④ ポートフォリオの効率的な運用に資するため、ならびに収益増大、リスク管理やコスト削減のため、為替先渡し取引、アセット・スワップ、トータル・リターン・スワップ、株価指数スワップや先物・オプション取引などを含むデリバティブ取引および貸し株などを活用する場合があります。

#### 【ファンドのパフォーマンス】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
当ファンド	-0.61%	4.91%	6.21%	-1.71%	50.35%	59.10%
ベンチマーク	-0.84%	4.26%	5.17%	-3.70%	41.92%	47.88%
超過収益	0.23%	0.65%	1.04%	1.98%	8.43%	11.23%

#### 【組入上位銘柄】

組入銘柄数 1,310銘柄

銘柄名	業種	国名	純資産比
APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ	2.5%
EXXON MOBIL CORP	エネルギー	アメリカ	1.8%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	1.1%
IBM CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	1.1%
CHEVRON CORP	エネルギー	アメリカ	0.9%
合計			7.4%

・国名は発行国で区分しております。

・当外国投資信託証券の純資産総額対比です。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットH9 SS (0902)

【特別勘定が投資する投資信託】

ステート・ストリート・ワールドバランスVA 0902<適格機関投資家限定>

【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

運用方針

国内外の株式及び国内外の公社債を主要投資対象とする外国投資信託証券に主として投資し、長期的に安定した資産の成長を目指します。株式を主要投資対象とする外国投資信託証券と公社債を主要投資対象とする外国投資信託証券の基本配分比率は当初40%、60%で運用開始し、一定期間経過後、各資産の時価変動等に応じて変動します。外国株式部分については、その外国投資信託証券において為替ヘッジが行われ、また外国公社債部分については、その外国投資信託証券において原則為替ヘッジが行われます。

## 主たる投資対象となる外国投資信託証券の運用状況

作成基準日: 2012年04月27日

### ●ハートフォード・インターナショナル安定型債券ファンド0902 (運用会社:HIMCO)

ファンドの特色:

- ① 運用開始時に残存期間が10年程度の国内外の公社債等に投資し、外貨建資産については為替リスクをコントロールすることにより、円ベースで安定した収益を得られることを目標とする運用を行います。
- ② 投資対象には、国債、譲渡性預金証書、銀行引受手形、譲渡可能な約束手形、コマーシャル・ペーパー、変動金利債券、社債、優先株、アセットバック証券、モーゲージ証券などを含みますが、これらに限定せず現金や定期預金などの補完的な流動資産を保有する場合があります。
- ③ 主として格付けA以上の公社債に投資するものとします。
- ④ ポートフォリオの効率的な運用に資するため、ならびに収益増大、リスク管理やコスト削減のため、金融先物取引、通貨スワップ、クレジット・デリバティブ、オプション取引、キャップ・フロアー取引、インタレスト・レート・スワップ、為替先渡取引、アセット・スワップ、クレジット・デフォルト・スワップ、トータル・リターン・スワップおよび貸し株などを活用する場合があります。

【ファンドのパフォーマンス】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
当ファンド	0.74%	0.63%	1.41%	3.53%	9.58%	8.80%

【組入上位銘柄】

組入銘柄数

8銘柄

【日本国債以外の組入上位銘柄】

銘柄	クーポン(%)	償還日	純資産比
日本国債	2.900%	2019/9/20	78.2%
日本国債	1.500%	2019/3/20	13.6%
日本国債	1.500%	2018/9/20	2.5%
欧州投資銀行	1.400%	2017/6/20	1.4%
Pfizer Inc	1.800%	2016/2/22	1.4%
合計			97.1%

・当外国投資信託証券の純資産総額対比です。

銘柄	クーポン(%)	償還日	純資産比
欧州投資銀行	1.400%	2017/6/20	1.4%
Pfizer Inc	1.800%	2016/2/22	1.4%
日本政策投資銀行	1.050%	2023/6/20	1.3%
日本政策投資銀行	1.750%	2017/3/17	0.9%
General Electric	2.000%	2017/2/22	0.9%
合計			5.9%

・当外国投資信託証券の純資産総額対比です。

【国別資産配分】

【セクター別資産配分】

【格付け別資産配分】

国名	純資産比
日本	96.5%
アメリカ	2.3%
その他	1.2%
合計	100.0%

・国名は発行国で区分しております。  
・当外国投資信託証券の純資産総額対比です。  
・その他にはキャッシュ等も含まれます。

種別	純資産比
国債等	96.5%
社債	2.3%
国際機関債	1.4%
その他	-0.2%
合計	100.0%

・当外国投資信託証券の純資産総額対比です。  
・その他にはキャッシュ等も含まれます。

格付け	純資産比
Aaa	1.4%
Aa	96.5%
A	2.3%
その他	-0.2%
合計	100.0%

・当外国投資信託証券の純資産総額対比です。  
・その他にはキャッシュ等も含まれます。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。